



ESPRESSO  
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL



New Descaling Mode

IPERESPRESSO



## ■ ご使用の前に

取扱説明書と保証書をよくお読みになってからご使用ください。

コーヒーマシンは、アースが取れている電源コンセントに接続する必要があります。

コーヒーマシンを清潔に保つために、カプセルホルダー、ドリフトレー、水タンクを毎日清掃してください。

コーヒーマシンのメンテナンスを実施するときは、電源を常にオフにしてください。

## ■ 重要事項

コーヒーマシン本体を絶対に水に浸けたり、本体及び取り外し可能な部品を食洗器に入れないでください。

水タンクの水は定期的に変換してください。

水タンク内が空の状態でもコーヒーマシンを使用しないでください。

2ヶ月ごとに市販のコーヒーマシン用のスケール除去剤を使用してスケール除去を行ってください。

## 目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 各部のなまえ	6
■ 設置手順と電源ON	7
■ 電源 OFF	8
■ セーブモード	8
■ コーヒーの抽出	9
■ コーヒー量の設定	10
■ フォームドミルクの作り方	11
■ スチーム使用後のコーヒー抽出	13
■ お湯の出しかた	14
■ スケール除去	15
■ クリーニングとメンテナンス	17
■ 仕様・推奨	18
■ 保証範囲	19
■ 故障かな？	20

## 安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

- ★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- ★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

**危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

- ⊘：禁止
- ⊘：接触禁止
- ⊘：水ぬれ禁止
- ⊘：分解禁止
- ⊘：ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- ⓘ：指示を守る
- ⓘ：電源プラグを抜く

## 危険

- ⊘ **自分で絶対に分解・修理・改造は行わない**  
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。

## 警告

### 電源/コンセントについて

- ⓘ 電源は交流100V (50/60Hz) で「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。  

- ⊘ 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない  
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。  

- ⊘ コンセントは本製品だけ（単独）で使用する  
コンセントの差込み口が2つある場合は、片方の差込み口を使用せず、空けたままにしてください。
- ⊘ 延長コードやテールタップ、ソケットなどは絶対に使わない  
コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

### 電源プラグ/電源コードについて

- ⓘ 電源プラグ/電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く  
使用中に、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店またはキーコーヒー爾お客様センターに、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。  

- ⊘ 電源プラグ/電源コードを破損するようなことはしない  
電源プラグ/電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。  

- ⊘ 動作中に電源プラグを抜き差ししない  
感電・火災の原因になります。
- ⊘ 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く  
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。
- ⊘ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電する恐れがあります。
- ⊘ 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む  
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。
- ⊘ 変形・破損している電源プラグ/電源コードは絶対に使わない  
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー爾お客様センターに、交換を依頼してください。

## ⚠ 警告

使用中／使用后について	
<p>❌ お子様だけでは使わない。幼児の手の届くところで使わない ヤケド・感電・ケガの原因になります。</p> <p>❗ コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する 高温のため、ヤケドの原因になります。</p>	<p>❗ 使用中は給水タンク内の水量をチェックする 極端に水が少ない状態が続くと異常発熱し、発火する恐れがあります。</p>
使用中	
<p>❗ 異常が生じた場合は、使用を中止する 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。</p>	
お手入れについて	
<p>❗ 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う ヤケド・感電・ケガの原因になります。</p>	

## ⚠ 注意

電源について	
<p>❗ プレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する 使用中にプレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。</p>	
電源プラグ／電源コードについて	
<p>❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く 電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。</p>	<p>❌ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない 熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。</p>
	

## ⚠ 注意

設置場所について	
<p>❌ 本体は不安定なところや熱に弱い場所、屋外には置かない 本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。</p>	
使用中／使用后について	
<p>❗ 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する 感電・火災の原因になります。</p> <p>🔌 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く</p> <p>❌ 本体や操作部に水やジュースをこぼさない</p> <p>❌ 本体や操作部（コントロールパネル）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。</p>	<p>❌ 使用中および使用后しばらくはコーヒー抽出口部分、スチーム管に触らない ヤケドの原因になります。</p> <p>❌ 他の用途で使用しない 本製品は、コーヒーの抽出、給湯、蒸気による泡立て／加熱専用です。故障の原因になります。</p> <p>🔌 使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く 故障の原因になります。</p> <p>❌ 給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れない 故障の原因になります。</p> <p>❌ 他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない 故障や事故の原因になります。</p>
お手入れについて	
<p>❗ 使用後は、必ずお手入れする 故障の原因になります。</p> <p>❌ 絶対に、水に浸したり、水洗いをしない 故障の原因になります。</p> <p>❌ 本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない 感電やショート、故障の原因になります。</p> <p>❗ 洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する 研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。</p>	<p>❌ ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない 本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。</p> <p>❗ 牛乳の加熱／泡立てなどでスチームを使用した後は、必ずお手入れする 衛生のため、必ずお手入れしてください。ミルクが内部に残ったり、固まったりするのを防ぎます。</p>

## ■ 本体の使用

取扱説明書をよくお読みください。

本体はエスプレッソコーヒー専用のコーヒーマシンです。水の噴流や不適当な使用方法による火傷を防ぐため注意してご使用ください。

本体は一般家庭での使用もしくは次のような環境での使用を目的としております：

- ・ オフィス、カフェやレストラン
- ・ ホテル等宿泊施設の部屋

本体使用時のみ、電源をお入れください。使用後は電源を落とし、コンセントからプラグを抜いてください。

使用していない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

熱くなっている表面には触れないでください。本体から出てきた水分もしくはコーヒーで火傷する恐れがあります。

お子様が本体で遊ばないように注意してください。

本体やコードはお子様の手の届かないところに置いてください。

室内でのみ使用し、本体が水にぬれないようにしてください。屋外では使用しないでください。

火災、電気ショック、ケガから守るため、コード・プラグ・本体を水やその他液体に浸さないでください。

電気、ガス、バーナーの付近や、熱したオーブンのそばには置かないでください。

製造元より推奨されていない付属品の使用は、火災、電気ショック、ケガの原因になることがあります。

電源プラグを抜く前に電源スイッチがオフになっている事を確認してください。

プラグを抜く際、電源コードを引っ張らないでください。濡れた手では絶対に触らないでください。

電源コードを引っ張ってマシンを動かしたり運んだりしないでください。

お子様が引っ張ってしまう恐れや予期せぬケガを防ぐため、電源コードをテーブルや調理台の上から垂らさないでください。

## ■ 本体の設置

取扱説明書をよくお読みください。

本体裏のデータプレートに表示してある必要条件に対応する主電圧を確認してください。

本体を温度が0℃以下、40℃以上の場所には設置しないでください。(氷点下では内部の水分が凍り、本体にダメージを与える可能性があります)

取扱説明書の仕様の項目に表示されているものに相当する電圧を使用しているかご確認ください。適切な電源を使用してください。

プラグとコンセントが合わない場合は、使用しないでください。

100Vのコンセントにのみ接続してください。

本体を水道の蛇口、シンクから離して置いてください。

本体を箱から取り出したら、使用する前に本体に不足や損傷等がないか確認してください。

梱包材、本体をお子様の手の届く範囲に置かないでください。

### ■ 本体の清掃

清掃前に本体のプラグを外してください。

本体の熱が冷めるのを待ってから清掃をしてください。

水タンクは少し上に引上げながら取外してください。

本体と付属品を濡れた布巾などで清掃してから、乾いた研磨性のない布で拭いてください。

洗剤は使用しないでください。

本体に水をかけたり、水に浸したりしないでください。

### ■ 正しく動作しないとき

電源コードやプラグがダメージを受けている場合や、本体が正常に動作していない表示を確認した場合、もしくはダメージがあるような場合は使用しないでください。

正しく動作しない場合、本体の電源を落としてください。決して無理に動かさないでください。

修理が必要な場合、お買い上げの販売店またはキーコーヒー(株)お客様センターにご相談ください。

### ■ 不適切な使用

製造元及び販売者は、本取扱説明書の仕様項目に表示されている電圧を使用していない事から起こる事故等の責任は一切負いません。

製造元及び販売者は、不適正な使用により起きた故障等についての責任は一切負いません。

### ■ 電源コードの取扱い

a) 電源コードは絡まったり、引っかかる危険性があるため、十分に注意してください。

b) 延長コードを使用する場合はアース付延長コードをご使用ください。

c) 延長コードを使用する場合：

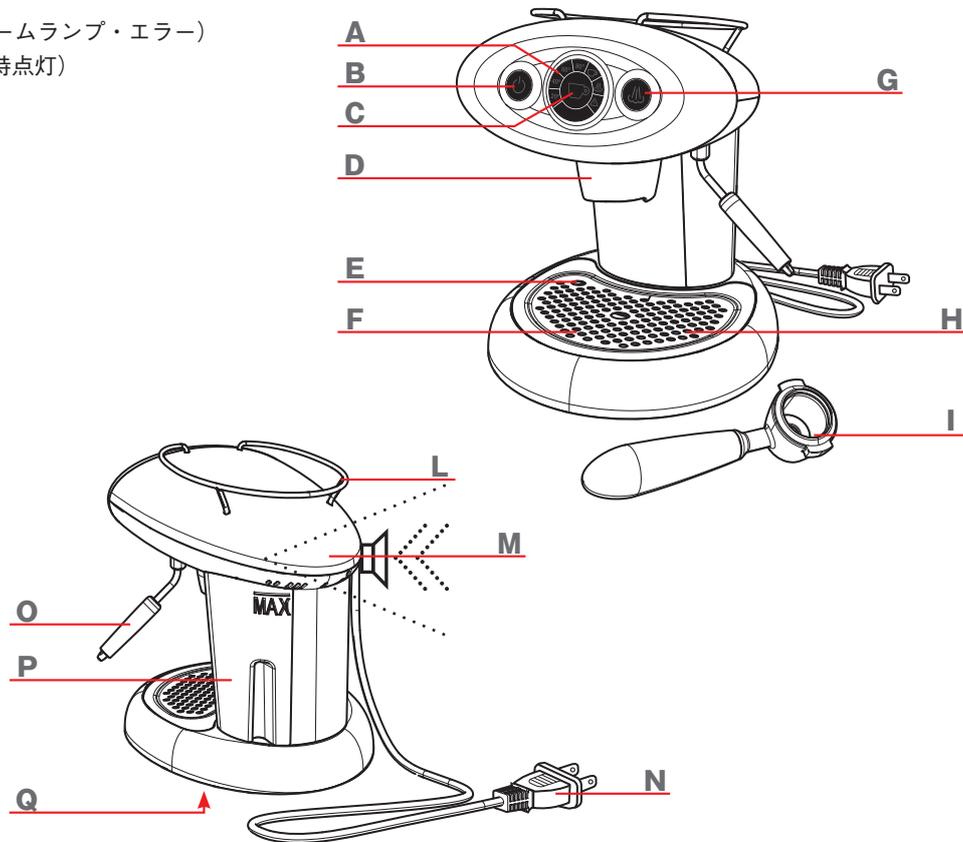
1) 本体の仕様適合していること

2) 電源コードはテーブルや調理台の上から垂らさないようにまとめ、お子様が引っ張ってしまうような場所には置かないでください。

**重要：**この取扱説明書は大切に保管してください。

## ■ 各部のなまえ

- A. 温度表示（コーヒランプ・スチームランプ・エラー）
- B. 電源ON/OFF スイッチ（電源ON時点灯）
- C. コーヒー抽出ボタン（開始/停止）
- D. 抽出ユニット
- E. ドリップトレイ満水表示
- F. すのこ
- G. スチームボタン
- H. ドリップトレイ
- I. カプセルホルダー
- L. カップホルダー
- M. アラーム
- N. 電源プラグ
- O. スチームノズル
- P. 水タンク
- Q. 定格銘板



## ■ 設置手順と電源ON

本体を電源に接続する前に、前頁の安全上の注意をよくお読みください。

- 1 電源プラグがコンセントから外れていることをご確認ください。**①**
- 2 下からカプセルホルダーを差し込み、しっかりはまるまで右に回してください。
- 3 マシンから水タンクを外し、洗い、水をMAXマークの上限まで入れてください。**②③**
- 4 タンクをマシンに戻し、しっかりはまっている事を確認してください。**④**
- 5 電源プラグをコンセントに差しこんでください。

注記：

発送時の梱包材を（少なくとも保証期間内は）保管することをお勧めします。  
マシンの修理のためにサービスセンターへ発送する時に必要になります。

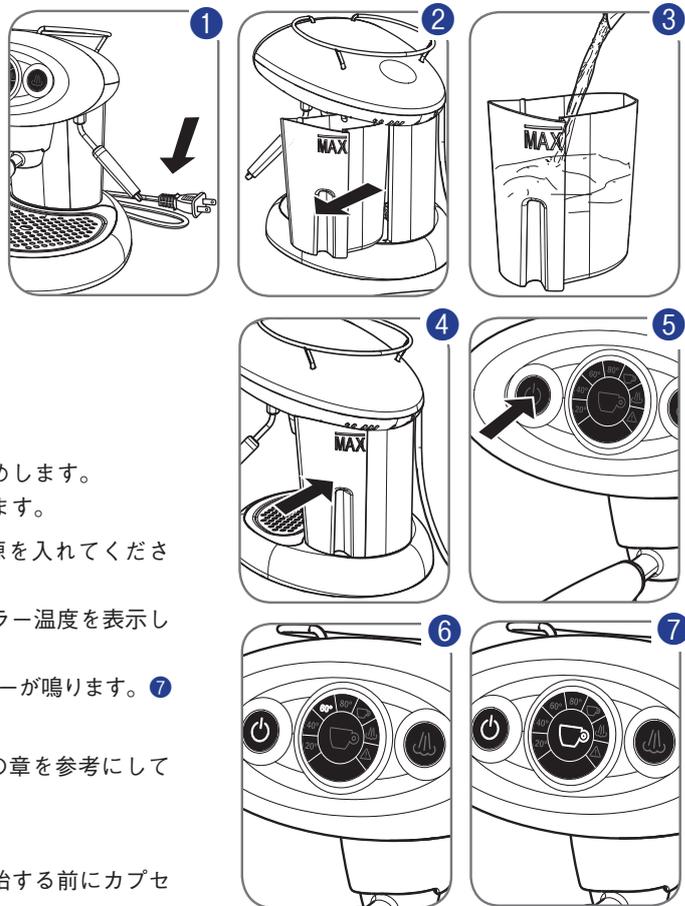
- 1 ライトが点灯するまで電源スイッチ  を押してマシンの電源を入れてください。**⑤**
- 2 ボイラー温度が上がると、温度表示のアイコンが点灯し、ボイラー温度を表示します。**⑥**
- 3 マシンが抽出温度に達すると、コーヒー抽出ボタンが点灯し、ブザーが鳴ります。**⑦**



もし三角形のライトが点灯し、ブザーが鳴ったら、「故障かな？」の章を参考にしてください。



初めて使用される時、又は長時間使用されなかった時は、使用を開始する前にカプセルなしで数回抽出してください。



**⚠ 警告：**

タンクには、飲料水のみ入れてください。

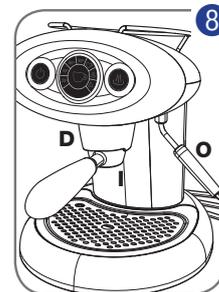
熱湯や、他の液体を入れるとタンクにダメージを与える可能性があります。

ご使用前に必ず水が入っている事を確認してください。

**⚠ 警告：**

操作中に、抽出ユニット (D) やスチームノズル (O)、またカプセルホルダー (I)

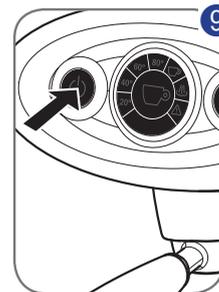
の金属部分は大変熱くなりますので、火傷に注意してください。⑧



## ■ 電源 OFF

1 マシンの電源を落とすには、フロントパネルが消えるまでボタン  を押し続けてください。⑨

2 電源が入っている状態で、絶対に電源プラグを抜かないでください。



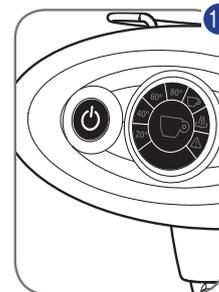
## ■ セーブモード

マシンは環境に配慮し、使用していない時に電気消費量をセーブするようプログラム化されています。

• 30分間使用しないと、自動的に電源がOFFになります。

自動的に電源がOFFになる5分前になると、電源スイッチ  が点滅します。

電源を入れたままにしておきたい場合は、再度電源スイッチを押してください。⑩



## ■ コーヒーの抽出

• X7.1は、“Iperespresso” カプセル専用マシンです。

次の手順に従ってください。

- 1 カプセルホルダーを左に回して、抽出ユニットから外してください。①
- 2 カプセルの向きを確認し、図のように、カプセルを差し込んでください。②
- 3 抽出ユニットにカプセルホルダーを戻し、ホルダーが所定の位置にとまるまで右に回してください。③④
- 4 コーヒー抽出ボタン  が点灯している事を確認してください。
- 5 コーヒー抽出ボタン  を押すと抽出がスタートします。

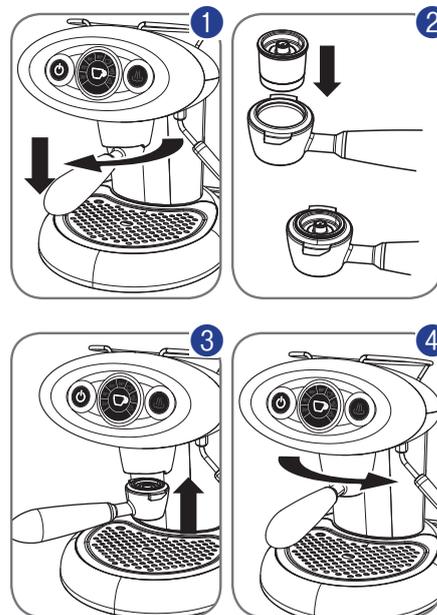
- コーヒーの抽出は設定量に達すると自動で止まります。
- 途中で抽出を止めたい場合は、もう1度コーヒー抽出ボタンを押してください。
- 続けてコーヒーを作る場合、使用済みカプセルを外し、上記の手順を繰り返してください。



コーヒー抽出ボタンを押した2、3秒後に、コーヒーの抽出が始まりますが、これはコーヒーを蒸らすためであり正常の動作です。

### ⚠ 警告：

- カプセルはコーヒー1杯用であり、同じカプセルで2杯抽出はできません。
- より安全にお使い頂くため、最長1分間の抽出でマシンは自動で止まります。
- ドリフトレイを定期的に掃除してください。



## ■ コーヒー量の設定

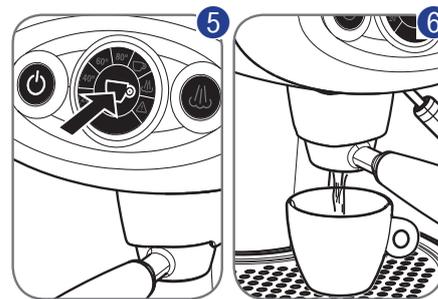
X7.1にはコーヒー抽出量の変更機能と、オートストップ解除の機能があります。

### ● コーヒー抽出量の変更

- 1 カプセルをカプセルホルダーに入れ、抽出ユニットにセットしてください。
- 2 カプセルホルダーの真下にカップを置いてください。
- 3 コーヒー抽出ボタンを、お好みの量になるまで押し続けてください。⑤
- 4 好みの量に達したら、ボタンを離してください。設定した量で記憶されます。⑥

### ● オートストップの解除

- 1 カプセルをカプセルホルダーに入れ、抽出ユニットにセットしてください。
- 2 カプセルホルダーの真下にカップを置いてください。
- 3 コーヒー抽出ボタンを長押しし、コーヒーが自動的に止まるまで押し続けます。(約1分) ⑤⑥
- 4 コーヒー抽出が止まってからボタンを放すと、オートストップが解除されます。



- オートストップが解除されている場合、コーヒーは自動的に止まりませんので、お好みの量まで達したら、コーヒー抽出ボタンを再度押して抽出を止めてください。



再度オートストップの設定をしたい時は、「コーヒー抽出量の変更」の手順を実施してください。

抽出量の変更またはオートストップの解除を行うと、工場出荷の初期設定には戻せません。コーヒー量を再度、くり返し設定してください。

## ■ フォームドミルクの作り方

このマシンは1、2杯分のカプチーノを作れるよう、牛乳を泡立てるスチーム機能を備えています。

効率よくカプチーノを作るために、先にカップにコーヒーを抽出してから以下の手順に沿って、牛乳を泡立ててください。

### ●手順

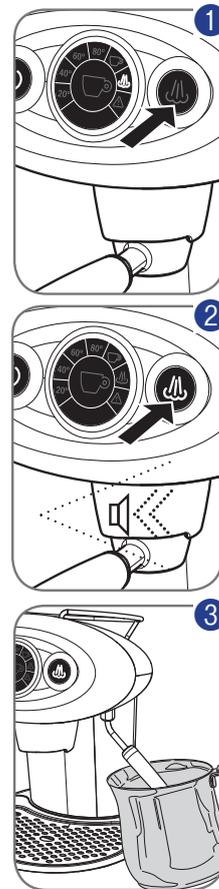
- 1 スチームボタンを押してください。①
- 2 中央ディスプレイのスチームアイコンが点灯し、スチーム噴出温度までマシンが加熱を始めます。
- 3 スチームボタン  が点灯すると使用可能です。②
- 4 この時、マシンは準備完了をお知らせする短いブザーが鳴ります。
- 5 スチームノズルの下に空の適切な容器を用意して、 ボタンを押してマシン内に残った水分を抜き出してください。(水抜き) ③
- 6 完全に蒸気になったら、ボタンを再度押してスチームを止めてください。
- 7 冷たい牛乳を容器(金属製を推奨)に入れてください。

注記：最高の出来上がりのため・・・

- 8 75ml程度の冷たい牛乳を冷蔵庫から出し容器に注ぎ、スチームノズル先端を、完全に牛乳の中に浸けてください。④
- 9 スチームボタン  を押してスチームを出し、牛乳を泡立ててください。
- 10 お好みの状態になったら、再度ボタン  を押してスチームを止めてください。

 :

スチームが出ている間、 ボタンが点灯します。





泡が立ちすぎて十分に加熱できない場合は、スチームノズルの黒いプラスチック部分すべてを牛乳に浸してください。完全に浸すと泡が立ちにくくなり、十分に加熱できます。

#### ●スチーム使用後のお手入れ

- 1 スチームボタン  を押し、2～3秒間スチームを出したら、再度押し止めてください。(ノズル内部についた牛乳をとるため)
- 2 スチームノズルが冷えるまで、お待ちください。
- 3 パーツXとZを下に引っぱって外し、洗ってください。⑤



- スチームノズルの2つのパーツは食器洗浄機でも洗っていただけます。  
洗浄後は、パーツXをスチームノズルにしっかりはめ、外側のZを付けてください。⑤

#### ⚠ 警告：

スチーム、スチームノズルに触れると火傷する恐れがあります。  
スチームを出さない場合は、約5分で自動的にコーヒー抽出モードに戻ります。  
その1分前に、ボタン  が点滅してお知らせします。  
スチームを継続して使用する場合は、スチームボタンを押してください。



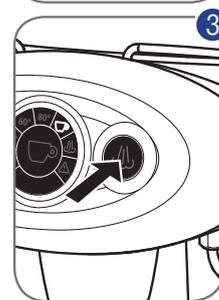
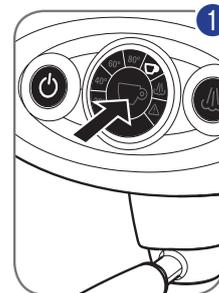
マシンがスチームモードになっている間、マシンは過熱が繰り返されているので、抽出ユニットとスチームノズルから少量のスチームが漏れることがあります。  
火傷しないよう注意してください。

X7.1を使用したアレンジメニューをKEY COFFEEホームページでご紹介しています。

URL：<https://www.keycoffee.co.jp/illy/>

## ■ スチーム使用後のコーヒー抽出

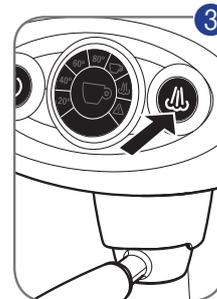
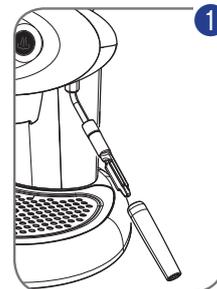
- スチームモードの直後は、コーヒー抽出ボタンは機能しません。
- コーヒーモードに戻すには、コーヒー抽出ボタン  を押してボタンが点灯するまでお待ちください。冷ましている間（約10分）、中央のカップのアイコンが点滅します。①
- 短時間でコーヒーモードに戻したい場合は（約1分）、次の手順に従ってください。
  - 1 コーヒー抽出ボタンを押し、中央ディスプレイのカップのアイコンが点滅していることを確認します。
  - 2 スチームノズルの真下に金属製の容器を置いてください。②
  - 3 スチームボタン  を約3秒間長押しすると、スチームがスタートします。③
  - 4 設定された量の熱湯量をスチームノズルから排出すると、自動で止まり、コーヒー抽出ボタンが点灯し、コーヒー抽出が可能になります。



## ■ お湯の出しかた

- スチームノズルで、お茶や飲み物を作る為の、お湯も用意する事ができます。  
コーヒーボタン  が点灯している事を確認してください。  
次の手順に従ってください。

- 1 スチームノズルが汚れていない状態である事を確認してください。 
- 2 容器（金属製を推奨）をスチームノズルの真下に置いてください。 
- 3 スチームボタン  を3秒以上長押ししてください。 
- 4 マシンはスチームノズルから熱湯を出し始め、その間スチームボタン  が速く点滅します。
- 5 熱湯がお好みの量に達したら、再度スチームボタン  を押し止めてください。



## ■ スケール除去

コーヒーマシンは、マシン内部にスケール（水中のカルシウム残留物）が付着した場合の除去のため、一定量のコーヒーを抽出するたびに自動で以下のアラームが表示されます。

- ・中央ディスプレイの三角注意アイコン  が点滅（2秒毎に1回） 

スケール除去を行なう前に、取扱説明書をよく読んでください。

### 【洗浄サイクル】

- 1 電源を切り、水タンクを外します。  
水をMaxまでタンクに入れ、市販のスケール除去剤を溶かし、タンクを本体に戻します。 
- 2 カプセルホルダーを外し、抽出ユニットの下に1ℓ以上の容器を置き、スチームノズルのカバーを外し 、内側パーツを容器の方に向けてください。 
- 3 マシンの電源を入れ、15秒以内にコーヒー抽出ボタンをアラームが4回鳴るまで押し続けてください。 
- 4 アラームが鳴り、コーヒー抽出ボタンと三角アイコン  が点滅したら、洗浄の準備ができました。
- 5 コーヒー抽出ボタンを1度押し、洗浄を開始してください。

#### 警告：

スケール除去実施中は、抽出された液体は決して飲まないでください。  
抽出された湯は非常に熱いのでやけどに注意してください。

- 6 洗浄サイクル中はコーヒー抽出ボタンとスチームボタンが交互に点滅し、洗浄液が排出されます。  
洗浄サイクルは約14分程度かかります。
- 7 洗浄サイクルが終了すると、アラーム音が鳴ります。  
（コーヒー抽出ボタンのみ点滅し続けます）

これで洗浄サイクル完了です。続いてすすぎサイクルを実施してください。



### 【すすぎサイクル】

- 8 タンクを外し、洗ってください。
- 9 水を Max まで注ぎ、本体に戻します。**⑥**
- 10 抽出ユニットの下の容器に入った洗浄液を捨て、容器を再度元の場所に戻します。**⑦**
- 11 コーヒー抽出ボタンを1度押し、すすぎを開始してください。**⑧**
- 12 すすぎサイクル中はコーヒー抽出ボタンをスチームボタンが交互に点滅し、すすぎ液が排出されます。すすぎサイクルは約3分程度かかります。
- 13 すすぎサイクルが終了すると、アラームが鳴り、コーヒー抽出ボタンが点灯します。**⑨**

これでスケール除去の全ての工程が完了しました。  
容器のすすぎ液を捨て、通常通り使用してください。

メモ：

ボタンの操作が、通常通りに実施されないと、本体は、スケール除去を開始しません。  
この場合、本体の電源を落とし、ステップ1～6を繰り返してください。  
スケール除去が必要になれば、表示ライトが自動的につきます。

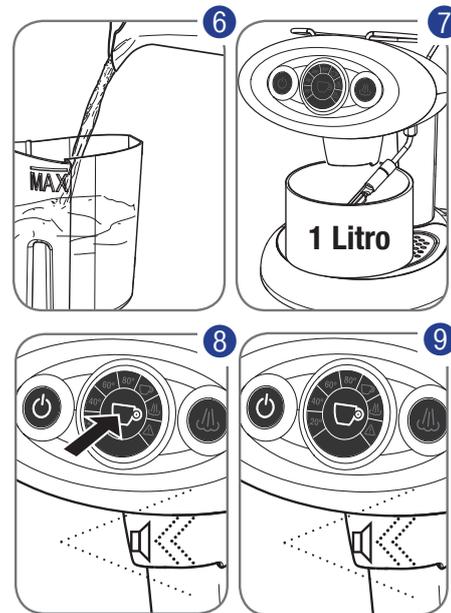
洗浄サイクル、すすぎサイクル実行中にコーヒー抽出ボタンを押すことで一時停止をすることができます。  
再開するにはコーヒー抽出ボタンを押します。

### ⚠ 警告：

除去処理をしている間に、停電等で主電源が落ちた場合、サイクルを最初からやり直する必要があります。  
・もしスケール除去を行わないと、スケールが増え、保証ではカバーされない不具合を起こす場合があります。  
・スケール除去剤の代わりに、酢・アルカリ液・塩・酸を使わないでください。マシン故障の恐れがあります。

注記：

アラームが表示されなくても、上記手順を実行できます。



## ■ クリーニングとメンテナンス

高品質なコーヒー抽出を維持するため、マシンの定期的な清掃をお勧めします。



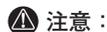
清掃はコンセントからプラグを抜いて、マシンが冷えてから作業してください。

マシンをきれいにするため、次の手順を実行してください。

- マシンの電源を切り、プラグをコンセントから外してください。①
- 水タンクを外し、洗ってください。②
- カプセルホルダーを空にし、洗ってください。③
- すのこは外し、洗ってください。④
- ドリップトレイを外し、洗ってください。⑤
- スチームノズルの外側の先端部品を外してください。⑥
- スチームノズルの内側の部品を金属ノズルから外してください。⑦
- 2つの部品を分離した後、洗ってください。
- 洗浄後、内側部品を金属ノズルにはめ、外側の部品をはめてください。⑧⑨

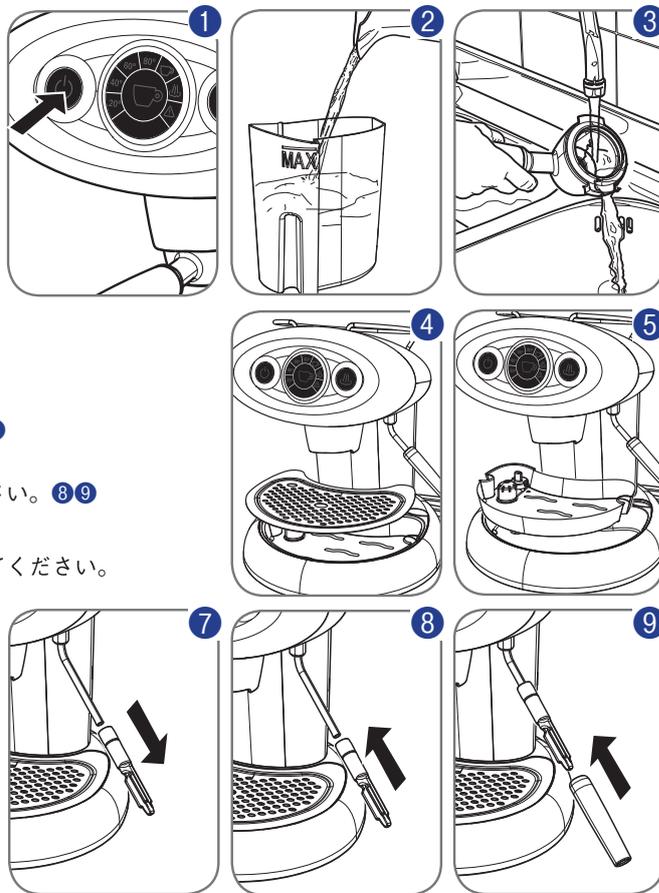
注記：

- スチームノズルの先端部品を戻す際、しっかりはめるよう確認してください。
- タンクの水は新鮮なものを使用してください。タンクを洗って、使用する水は毎日入れ替えてください。
- 洗剤は必ず台所用洗剤を使用し、クレンザー、スプレー洗剤、漂白剤、エチルアルコール・溶剤・研磨材スポンジ、または強い化学物質は絶対に使わないでください。



注意：

マシンと付属品を電子レンジやオーブンで乾かさなでください。



## ■ 仕様

水タンク：1.2ℓ（MAX粋まで1ℓ）

ポンプ圧：15bar（約15気圧）

サイズ：200×340×350mm

本体重量：5kg

電圧：100V、50/60Hz

消費電力：1200W

製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## ■ 推奨

高品質のエスプレッソをお楽しみいただくために：

- マシン内部のスケール付着を最小限にするためミネラル含有量の低い水を使用してください。
- コーヒーカップはあらかじめ温めてからご使用ください。

## ■ 保証範囲

### ⚠ 警告：

本書に記載の通り定期的にスケール除去を行わないと故障の原因となり、保証対象外となる場合があります。スケール除去剤は市販されているコーヒーマシン専用のスケール除去剤をご使用ください。故障の原因となりますので酢、アルカリ液、塩、ギ酸を使用しないでください。スケール除去の工程で発生した液体を絶対に飲まないでください。

以下に起因する損傷や不具合については保証対象外となります：

- 定期的なスケール除去の不足
- 取扱説明書の仕様の項目にある表記とは異なる電圧を使っての操作
- 不適切な使用や、取扱説明書に従っていない使用
- 内部の改造
- 本体の部品を食器洗浄機で洗った場合
- 本体及び各付属品を清潔に保たれていなかった場合

認定されてないサービスセンターでおこなった修理費用は、保証対象外です。また、その費用は全てコーヒーマシン所有者の負担となります。

### ⚠ 警告：

修理が必要となった場合のために梱包材を保管しておくことをお勧めいたします。十分に梱包せず、輸送途上で起こった損傷は保証対象外となります。これらの警告に従わないと、コーヒーマシン本体にダメージを与えることがあり、保証対象外となる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

## ■ 故障かな？

それでも直らない場合……キーコーヒー(株)お客様センターに連絡してください。

### 症 状

### 解決策

マシンの電源が入っているのに  
スイッチ  が点灯しない

- プラグがコンセントに接続されているか確認してください。ご家庭の配電盤のブレーカーを確認してください。

コーヒーが出てこない

- タンクに水を入れ、しっかりと取付けられているか確認してください。
- カプセルホルダーをユニットから取り外してください。
- コーヒースイッチが点灯するまで待ってください。(マシンがコーヒー抽出準備の状態です。)
- カップを抽出ユニットの真下に置いて、コーヒースイッチを押してください。
- 数秒水を出しっぱなしにしてください。
- 流れが止まるまでコーヒースイッチを押してください。
- カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回してください。再度、コーヒーを抽出してください。

スチームボタン  を押してもマシンから蒸気が出ない。

- 事例 a) もし、温度表示スチームアイコンがオンの場合、スチームアイコンが点灯するのを待ってください。
- 事例 b) 温度表示スチームアイコンがオフの場合、スチームスイッチを押し、スチームスイッチが点灯するまで(温まるまで)待ってください。

スチームは出るがミルクが泡立たない

- 事例 c) スチームノズルが詰まった場合、電源を切り、マシンの熱が下がるのを待ち(1時間以上)スチームノズルの穴から詰まったものを取り除いてください。

コーヒー抽出中にユニットから水漏れする。

- カプセルが専用品か確認してください。  
カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回し、(止まるまでハンドルを回してください。)再度、コーヒーを抽出してください。

速いブザーと三角のアイコンが点滅する

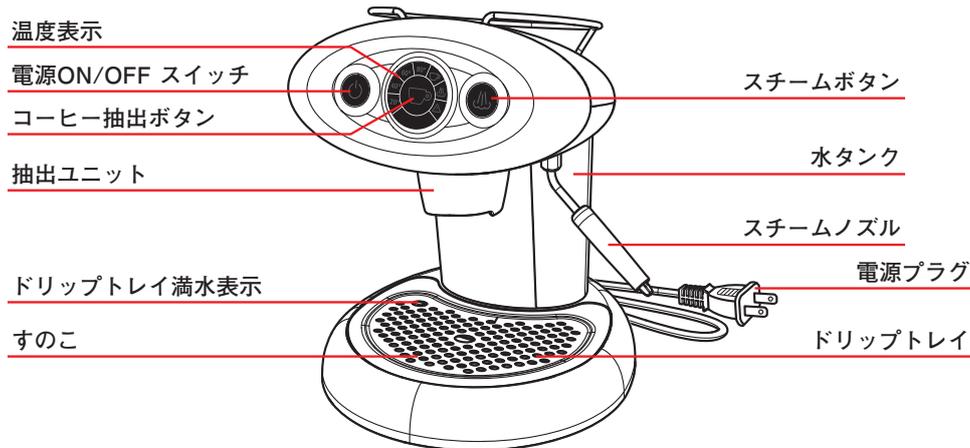
- 以下の手順を行ってください。
  - マシンの電源を切ってください。
  - タンクに水を入れてください。
  - スチームノズルの真下にピッチャーを置き、スチームボタンを押してください。
  - マシンの電源を入れ、10秒程お待ちください。

それでも直らない場合……キーコーヒー(株)お客様センターに連絡してください。

## 症状

## 解決策

三角のアイコンが点滅する。	• スケール除去サイクルを最後まで実施してください。(P.15~16)
マシン内部から水漏れする。	• マシン電源をオフにし、コンセントからプラグを抜き、水タンクを空にしてください。修理が必要なので、センターに連絡してください。
水タンクから水が漏れた。	• 水タンクを外して空にし、透明なゴムワッシャーを確認し、ゆるんでいたら奥まで押し込んでください。
抽出が始まる前にカプセルからコーヒーが落ちる。	• 最初の数秒の抽出でコーヒーが滴り落ちるのは蒸らし抽出であり、正常です。
コーヒーの抽出量がバラつく。	• 多少のバラつきは正常です。 • バラつきが多い場合は、電源コンセントは一つの回路を使用しているか、またはカプセルホルダーがきちんと取り付けられているか確認してください。
スチームノズルから水滴が落ちる。	• スチームノズル内に残ったスチームが冷えて水滴になり落ちる事がありますが、正常です。



メ 毛

---